



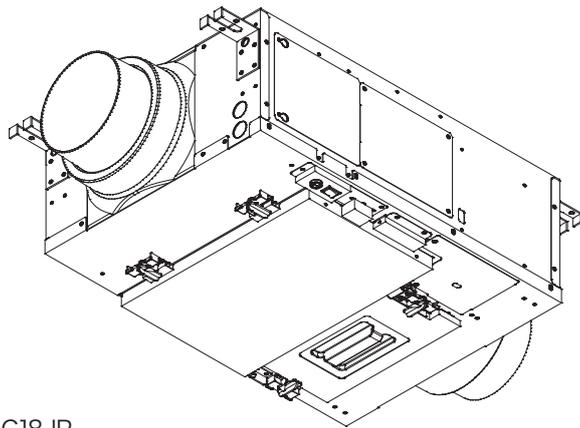
施工業者様用

外気清浄機ユニット

外気清浄機

G18JP

G12JP



G18JP

もくじ

1. 安全上のご注意	1
2. 付属品の確認	4
3. 各部のなまえと寸法	5
4. 埋込表示スイッチの取り出し	7
5. 据付場所の確認	8
6. 外気清浄機ユニットの据付工事のしかた	9
1. 上吊り設置の取り付け	9
2. 床・壁固定設置の取り付け	11
3. ダクトの取り付け	13
4. 電源コードの接続	14
5. 埋込表示スイッチの結線	15
7. 点検口設置位置	17
8. 試運転と作動確認	18
1. 試運転の準備	18
2. 試運転と作動確認	18
3. 埋込表示スイッチのランプ表示の 確認	19
4. 防虫ネット部の確認	19
9. 引き渡し	20

- この製品の性能と安全性を確保するために、この据付工事説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく据え付けてください。
- この製品の配線工事は、電気工事の資格のある人が行ってください。
- この説明書に出てくる **⚠ 警告**・**⚠ 注意**・**<据付工事上のご注意>**は、据付工事をする上で重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

ここに示した注意事項は、据付工事をする人やお使いになる人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただきたい内容です。

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

絵表示の意味について

 <p>必ず指示に従ってください。</p>	 <p>分解しないでください。</p> <p>分解禁止</p>	 <p>必ずアース線を接続してください。</p> <p>アース線接続</p>
 <p>絶対に行わないでください。</p> <p>禁止</p>	 <p>触れないでください。</p> <p>接触禁止</p>	

警告

この製品の配線工事は、電気工事の資格のある人が行ってください。



火災・感電・ショートなどによる事故の原因になります。

据付工事は、不安定な足場で作業しないでください。



転落や製品落下によるけがの原因になります。

禁止

ぬれた手で電源スイッチを操作しないでください。



感電のおそれがあります。

禁止

据付工事は、必ず二人以上で行ってください。



思わぬ事故の原因になります。

配線工事前には、必ず電源を遮断してください。



感電による事故の原因になります。

交流 100-240V(AC100-240V)の電圧で使用してください。



火災・感電・故障の原因になります。

次の場所には設置しないでください。

- ・可燃性ガス、引火性ガス、爆発性ガス、腐食性ガスのある場所。
- ・可燃性粉じん、導電性粉じんのあ
る場所。
- ・「火気厳禁」と指定されている場所。
- ・オイルミストの発生する場所。
- ・金属製のほこりが発生する場所。
- ・水蒸気の発生する場所。
- ・高温・高湿（40℃以上、80%以上）
の場所。
- ・雨水や水などが、かかるおそれ
のある場所。
- ・据付強度の低い建物。
- ・据付ける天井面が、床面に対して
水平でない場所。
- ・燃えやすいものの近く。
- ・塩分のある場所。



禁止

このような場所に設置すると、火災・感電・ショート・故障の原因になります。

製品や配線に水をかけないでください。



禁止

ショート・感電のおそれがあります。

重塩害地は使用範囲外となります。塩害地での使用についても塩害防止フィルタ等を別途設けてください。



禁止

故障・破損の原因になります。

アース接続端子を、ガス管・避雷針・電話線・水道管などに接続しないでください。



禁止

爆発・引火・落雷の影響・感電のおそれがあります。

分解や改造は絶対にしないでください。



分解禁止

火災・感電・けがの原因になります。

引火性のもの（ガソリン・ベンジン・シンナーなど）を本製品の近くに置かないでください。



禁止

爆発や火災のおそれがあります。

電源接続は確実に行ってください。



接続が不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

本製品の機能維持には、お施主様もしくは当社指定業者による1年に1回程度のメンテナンス（お手入れ）が必要です。



メンテナンスをされない場合は安全のために自動的に外気清浄機ユニットの機能が停止します。

なお、お施主様もしくは当社指定業者以外の修理による事故・火災・故障・破損につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アースをD種設置工事に基づいて確実に取り付けしてください。



故障や漏電したときに感電するおそれがあります。

⚠ 注意

吸込口や吹出口を、ものでふさがないようにしてください。



禁止

集じん効果が低くなり、故障・破損の原因になります。

防虫ネットが標準付属の製品は防虫ネットを外して使用しないでください。



禁止

製品内部に異物が入り、火災・感電・故障の原因になります。

試運転で異常や異音・異臭が発生したときは、直ちに運転を中止してください。



火災・感電・故障の原因があります。

異常や異音・異臭が発生したときは、直ちに電源スイッチを切り、お買い上げの販売代理店または当社カスタマーサービス部にご相談ください。

本製品に貼ってあるラベルは、絶対に剥がさないでください。



禁止

ラベルは、誤った使用かたや事故を防止するためのものです。

ボルトやネジは、確実に締めつけてください。



禁止

製品の変形・破損や落下により、けがをするおそれがあります。

耐震などの必要に応じ、横滑り防止対策を行う場合、機器へ穴を開けないでください。



禁止

故障・破損の原因になります。

下記の使用条件を超える地域、環境には取り付けないでください。

・適用地域

外気導入系統で使用する場合：

省エネ基準 4 地域以南

(省エネ基準 1～3 地域でご利用の場合は、全熱交換器の 2 次側に設置してください。)

室内循環で使用する場合：全地域

・設置周囲温湿度範囲

0～40℃

通気気流温度が10℃未満の時

相対湿度60%以下

通気気流温度が10℃以上40℃以下の時

相対湿度80%以下



禁止

故障・結露のおそれがあります。

外気清浄機ユニットと屋外間のダクトは、長さ 500mm 以上とし、屋外側に向かって 1/30 以上の下り勾配となるよう設置してください。



雨水の侵入により、故障の原因になります。

吊りボルトは耐震など必要に応じ、振れ止め用耐震支持部材にて補強してください。



故障・破損の原因になります。

全ての配線の結線を終えてから、電源スイッチを入れてください。



火災・感電・故障の原因になります。

給気口から多くの虫が侵入する可能性がある場合、虫の侵入防止装置を別途設けてください。



製品内部に異物が入り、火災・感電・故障の原因になります。

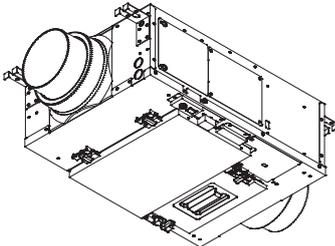
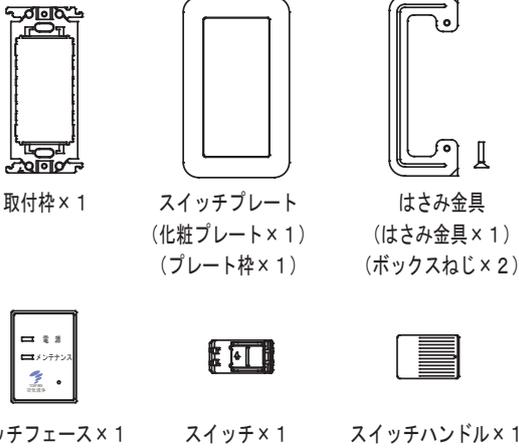
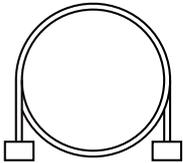
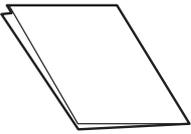
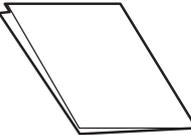
2 付属品の確認

梱包を開いたら、下記の部品数や部品の変形・欠損がないか確認してください。

⚠ 注意

万一、部品に変形や欠損があったときは、そのまま使用しないでください。
事故を引き起こす原因になります。

本体梱包

部品の種類	個数
外気清浄機ユニット (G18JP1 * ^{※1} もしくは G12JP1 * ^{※1}) ※1 *には仕様の正しい記号が入ります。 	1
埋込表示スイッチ 取付枠×1 スイッチプレート (化粧プレート×1) (プレート枠×1) はさみ金具 (はさみ金具×1) (ボックスねじ×2) スイッチフェース×1 スイッチ×1 スイッチハンドル×1 	1 本体のメンテパネルを開くと 小箱に入っています。 詳しくは本冊子 P.7 参照のこと
スイッチ中継ハーネス (約 10m) 	1
据付工事説明書 (本冊子) 	1
取扱説明書 / 保証書 	1

※本製品の据付に工事必要な吊りボルト・ナット・平座金または固定ねじ、電源コード、ダクト・ダクト接続部材等は工事業者手配になっています。

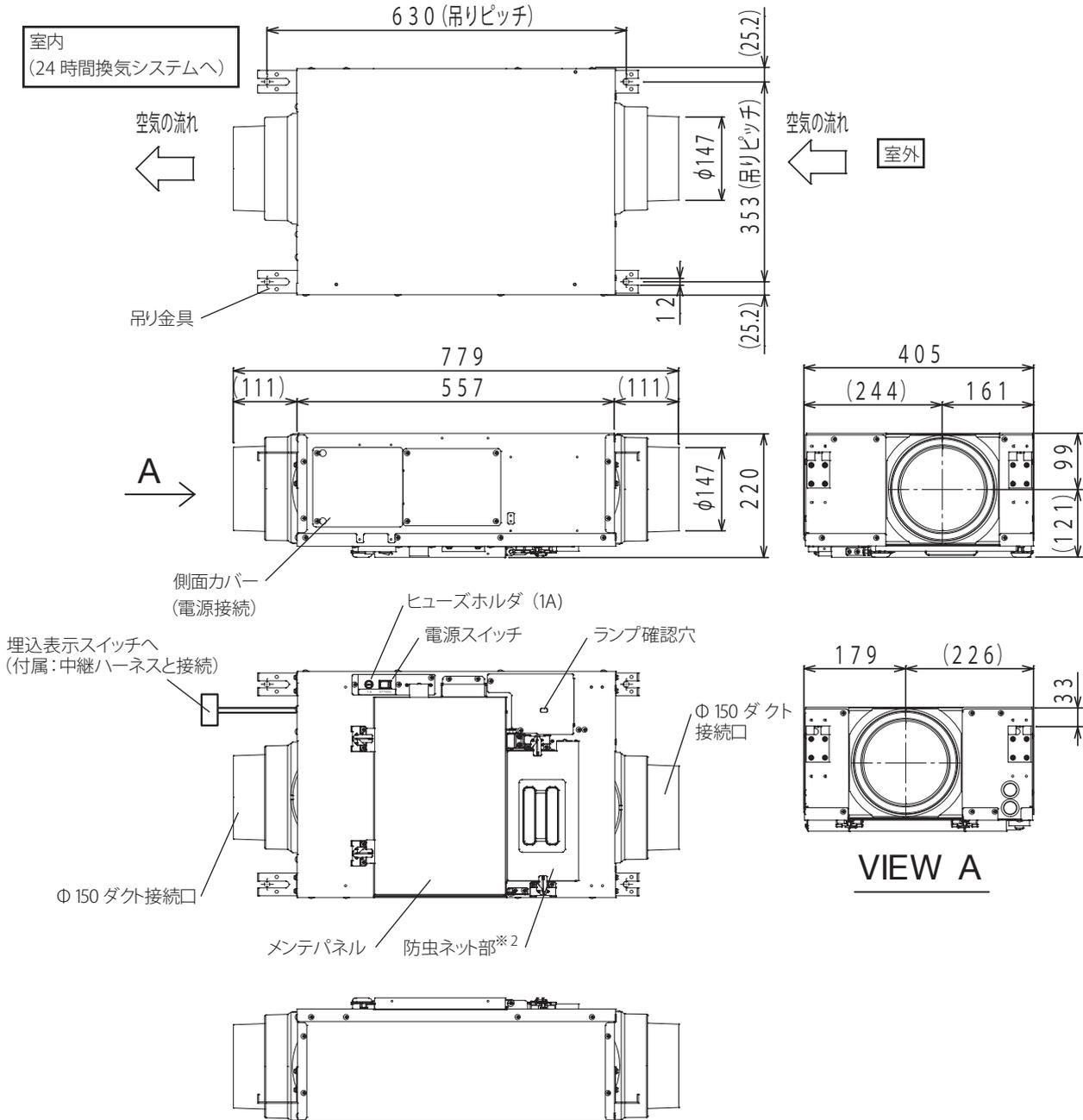
3 各部のなまえと寸法

外気清浄機ユニット

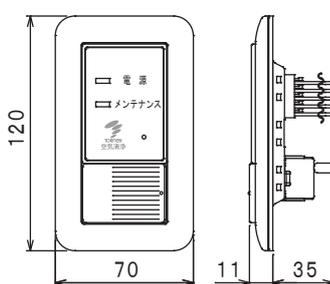
G18JP1 *※1

※1 *には仕様の正しい記号が入ります。

※2 防虫ネットの標準付属していない製品もございます。

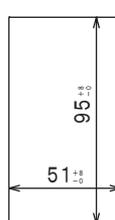


埋込表示スイッチ

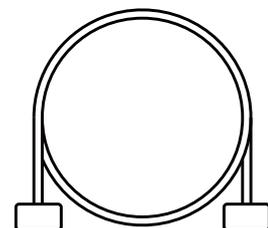


外気清浄機ユニットへ
(付属: 中継ハーネスと接続)

壁の穴あけ寸法



スイッチ中継ハーネス(10m)

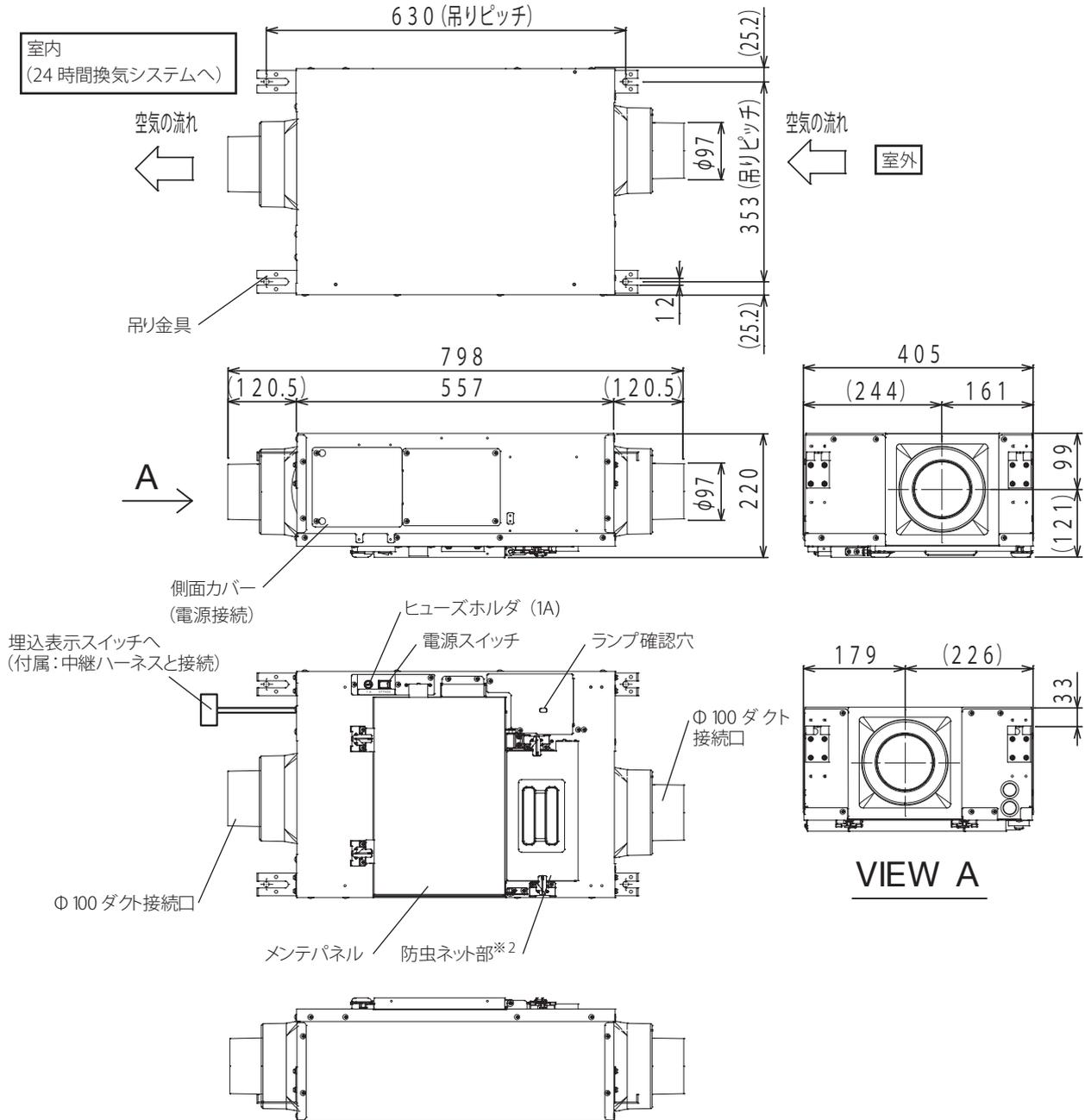


外気清浄機ユニット

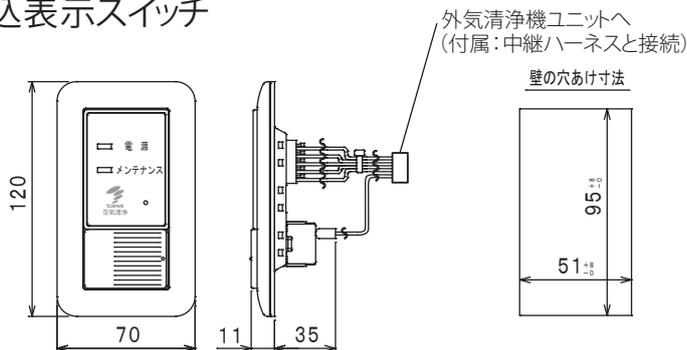
G12JP1*※1

※1 *には仕様の正しい記号が入ります。

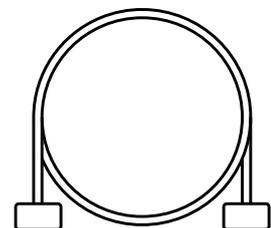
※2 防虫ネットの標準付属していない製品もございます。



埋込表示スイッチ



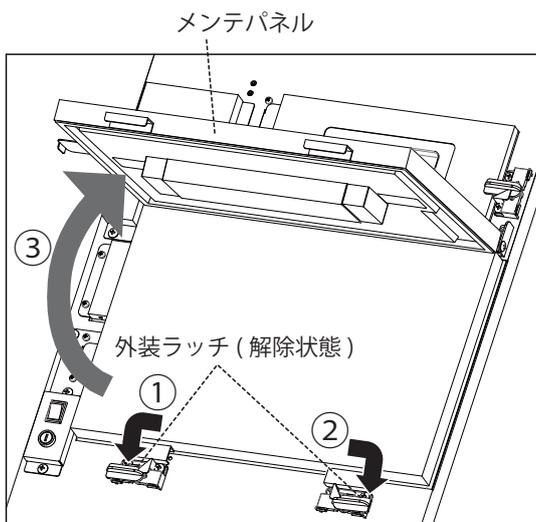
スイッチ中継ハーネス(10m)



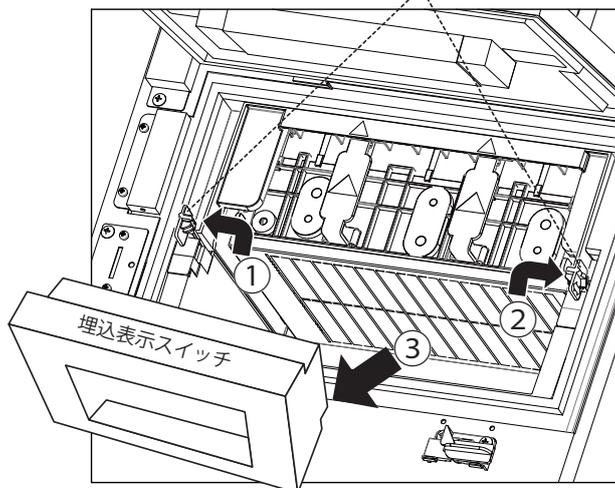
4 埋込表示スイッチの取り出し

※外気清浄機ユニット内（メンテパネル内）に施工に必要な埋込表示スイッチが入っています。
下記手順に従って取り出してください。

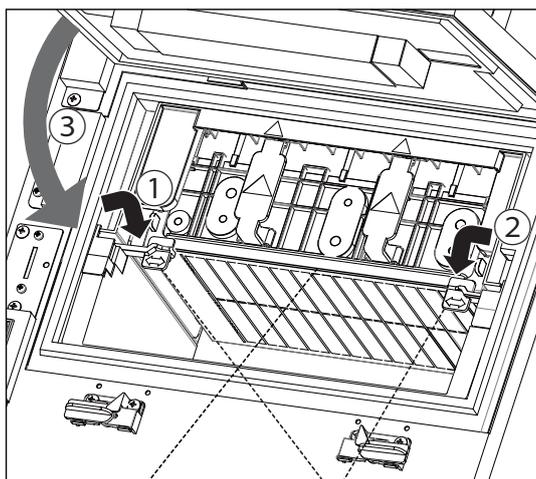
手順1 左右の外装ラッチのロックを解除して、メンテパネルを開けます。



手順2 左右のセルラッチのロックを解除します。埋込表示スイッチの梱包を取り出します。セルラッチ (解除状態)

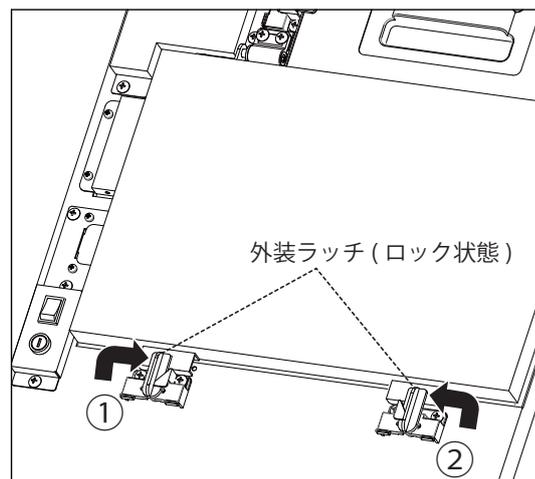


手順3 左右のセルラッチをロック状態に戻して、メンテパネルを閉じます。



※この角にセルラッチがしっかり当たること。セルラッチ (ロック状態)

手順4 左右の外装ラッチをロックして終了です。



⚠ 注意

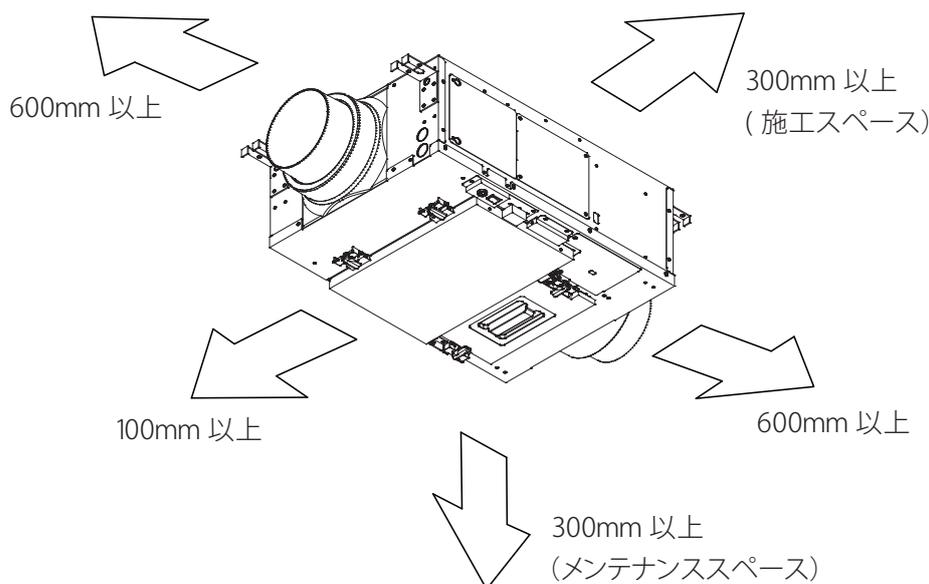
セルラッチを確実にロックください。
セルラッチが正常にロックされていないとメンテパネルがきちんと閉まりません。
メンテパネルを閉じて、外装ラッチ (2ヶ所) を確実にロックしてください。

5 据付場所の確認

据付場所は、下記のような場所を選んでください

- 本製品の据え付けに、十分耐えられる強度のある場所。
- 吸込口や吹出口に障害物がない場所。
- 高周波を発生する機器や、精密機器がない場所。
- 下図のスペースが確保できる場所。

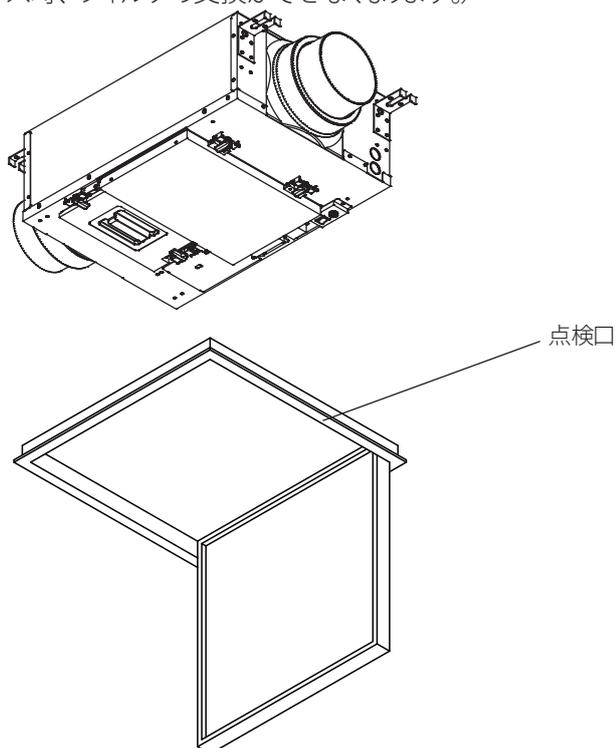
1. 外気清浄機ユニットの周囲には施工、点検、清掃のために下記の寸法以上の空間が必要です。
(下図の寸法が確保されないと、施工、点検、清掃ができない場合があります。)



2. 定期的なメンテナンスが必要なため、外気清浄機ユニットへのアクセスがし易い位置に点検口を設けてください。
(下記の寸法の点検口が設置されないと、メンテナンス時、フィルタの交換ができなくなります。)

<点検口サイズ>

□ 600mm



- 詳細な設置位置は製品仕様によって異なりますので、次ページからの「外気清浄機ユニットの据付工事のしかた」を参照してください。

6

外気清浄機ユニットの据付工事のしかた

警告

- 据付工事は、必ず二人以上で行ってください。
- 配線工事は、電気工事の資格のある方が行ってください。
- 据付工事は、不安定な足場で作業しないでください。
- 配線工事前に、必ず電源を遮断してください。
- 電源の接続は、ブレーカーを通した AC100-240V 50/60Hz の電源に接続してください。
- アースは、D種接地工事を実施してください。
- 接続には、当社指定の電線（裏表紙「結線図」参照）を使用してください。

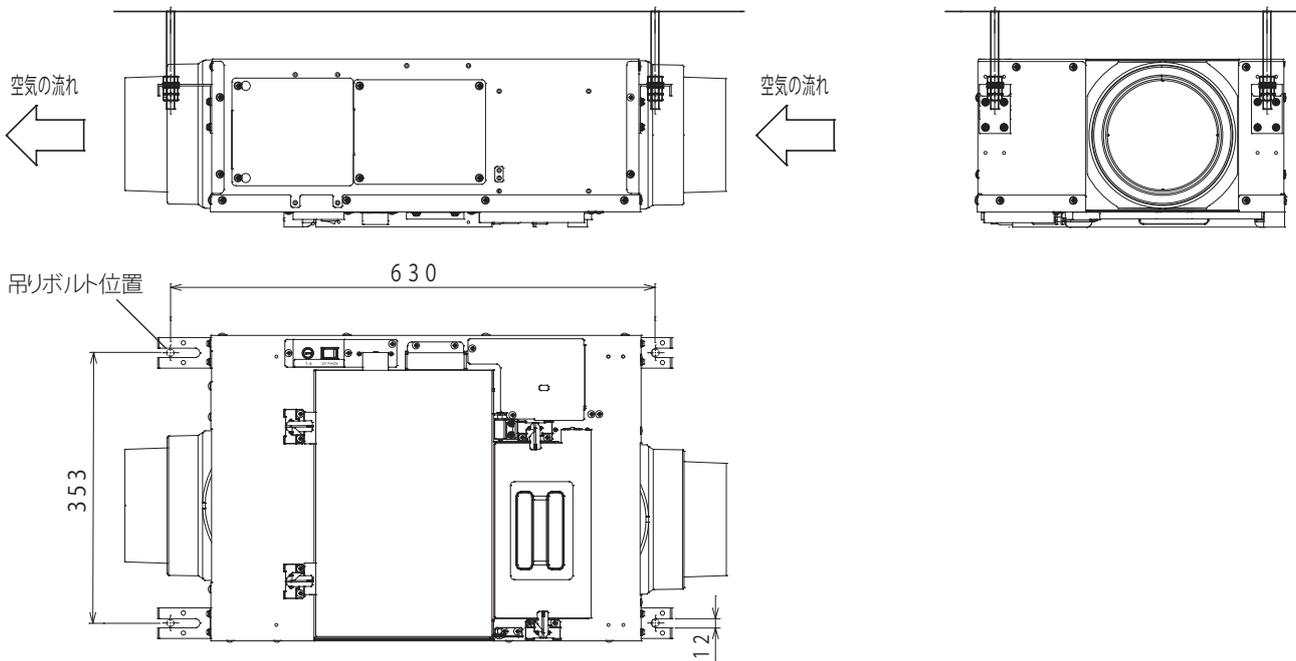
1. 上吊り設置の取り付け

1. 外気清浄機ユニットの吊り位置に合わせて吊りボルト（M10 もしくは W3/8）を設置してください。

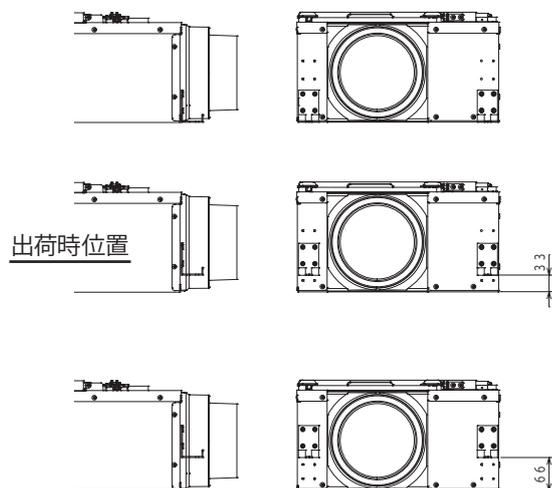
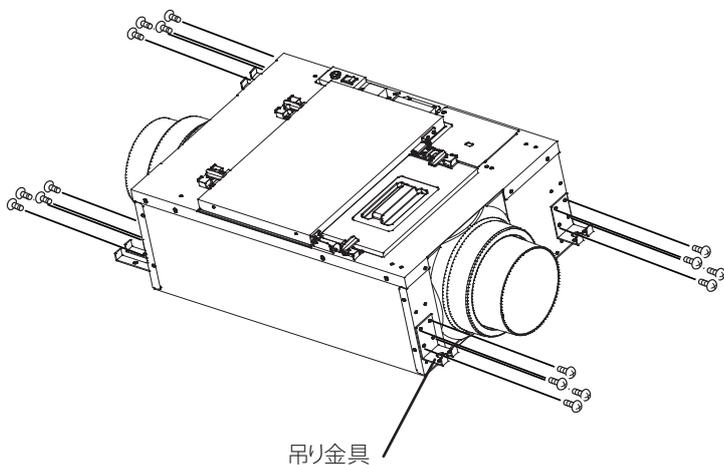
<据付工事上のご注意>

- 吊りボルト・ナット・平座金は、工事業者手配になっています。
- 吊りボルトは、1本当たり 0.5kN（50kgf）の引き荷重に耐えられるように固定してください。
- 吊りボルトは耐震など必要に応じ、振れ止め用耐震支持部材にて補強を行ってください。
- 吊りボルトの長さが 900mm を超える場合は、さらに防振吊金具等による防振対策を施してください。

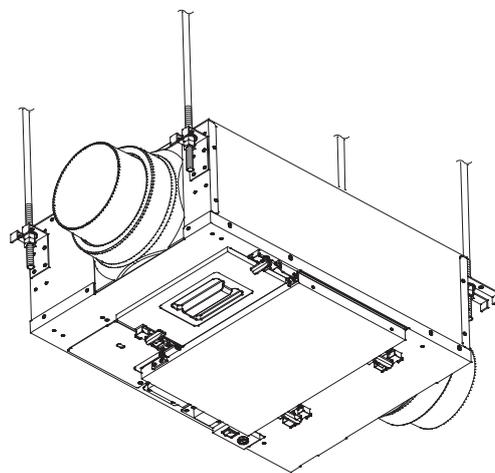
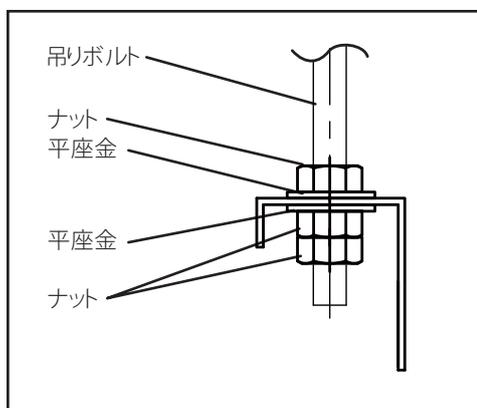
吊りボルト 設置位置



2. 設置の現場に合わせて吊り金具の位置を変更できます。
(取付方向に注意してください。)



3. 吊りボルトの平座金の上に吊り金具を差し込み、ナット 2 個 (ダブルナット) を仮締めしてください。



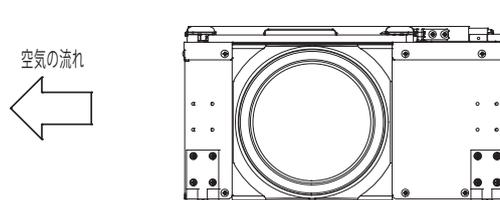
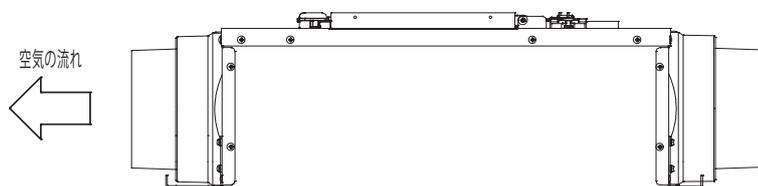
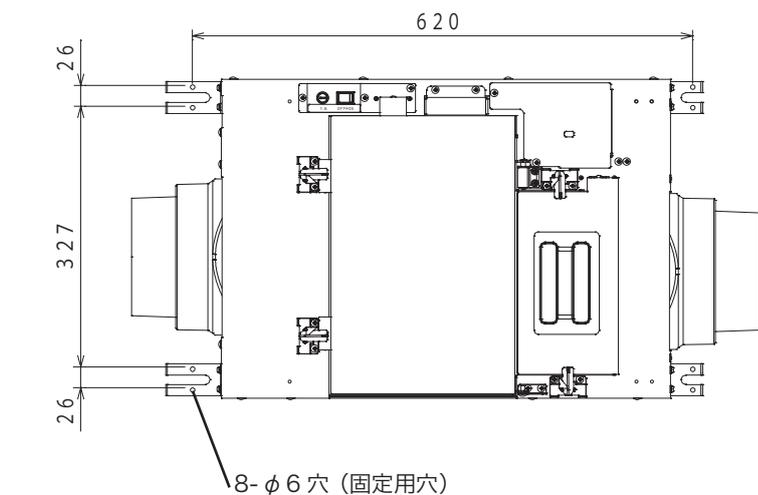
4. 本体の水平を確認しながら、ナットを締め付けて固定してください。

2. 床・壁固定設置の取り付け

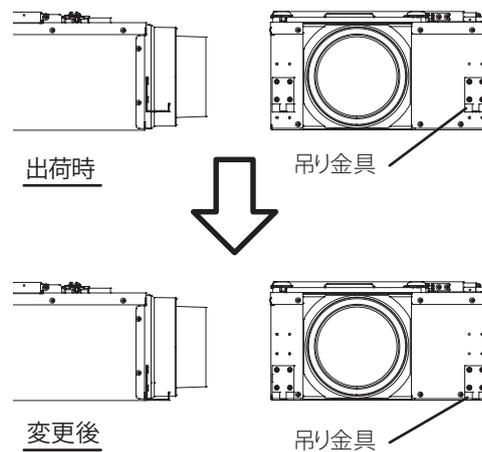
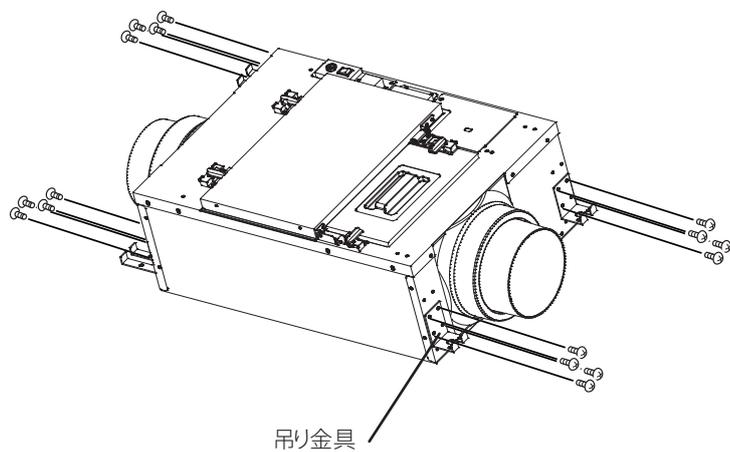
<据付工事上のご注意>

●床・壁固定用のねじ、アンカーは、工事業者手配になっています。

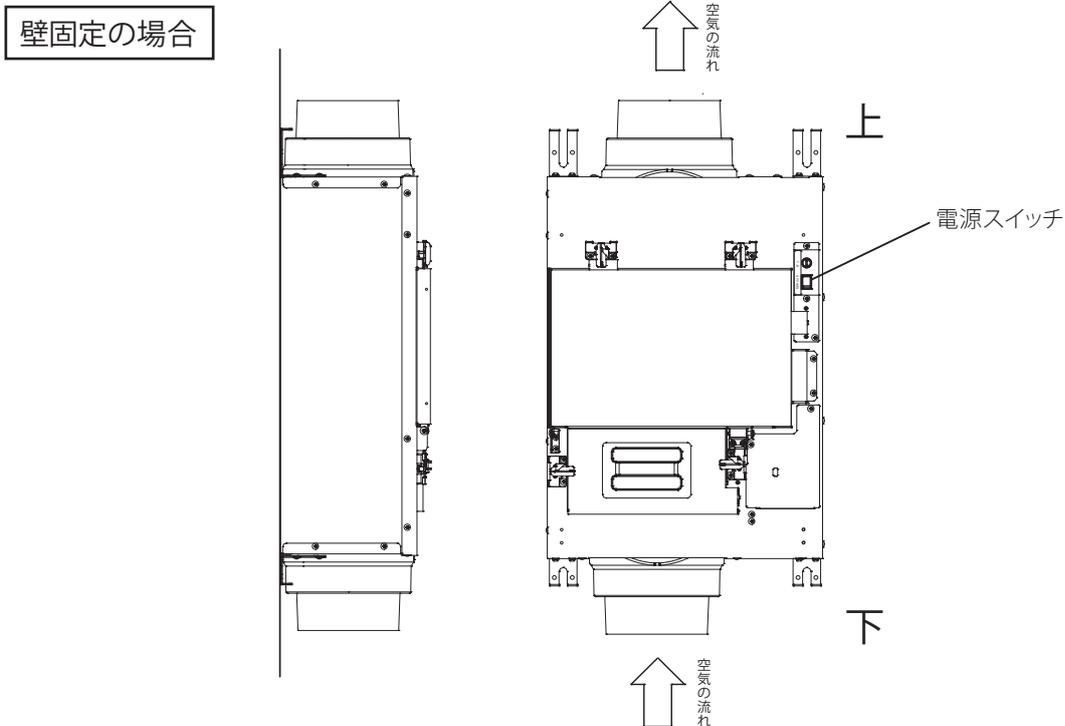
床・壁固定設置位置



1. 吊り金具の位置を変更してください。
(取付方向に注意してください。)



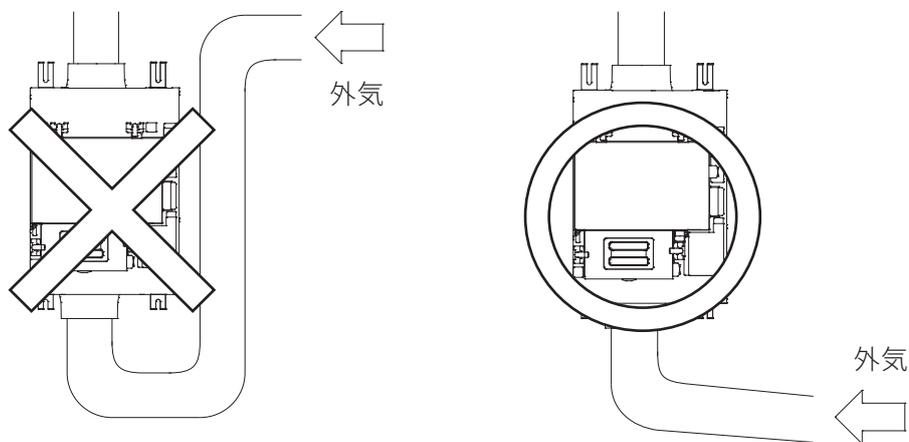
2. 壁固定の場合は本体の取付け方向に制限がございます。電源スイッチのある方を上方向に取付けてください。
(取付方向に注意してください。)



3. 吊り金具位置変更後、床や壁の材質に合わせたねじまたはアンカー等で確実に固定してください。

⚠ 注意

- 屋外側ダクトは換気風量低下やダクト内の詰まり原因となるため、本体より高い位置に配管しないでください。



- 屋外側ダクトは雨水の侵入を防ぐため、屋外に向けて長さ 500mm 以上で 1/30 以上の下り勾配をつけてください。
- 外気清浄機ダクト部に荷重がかからないようにダクト自体を吊上げて固定してください。
外気清浄機ダクト部に荷重がかかると結露、エア漏れの原因となります。

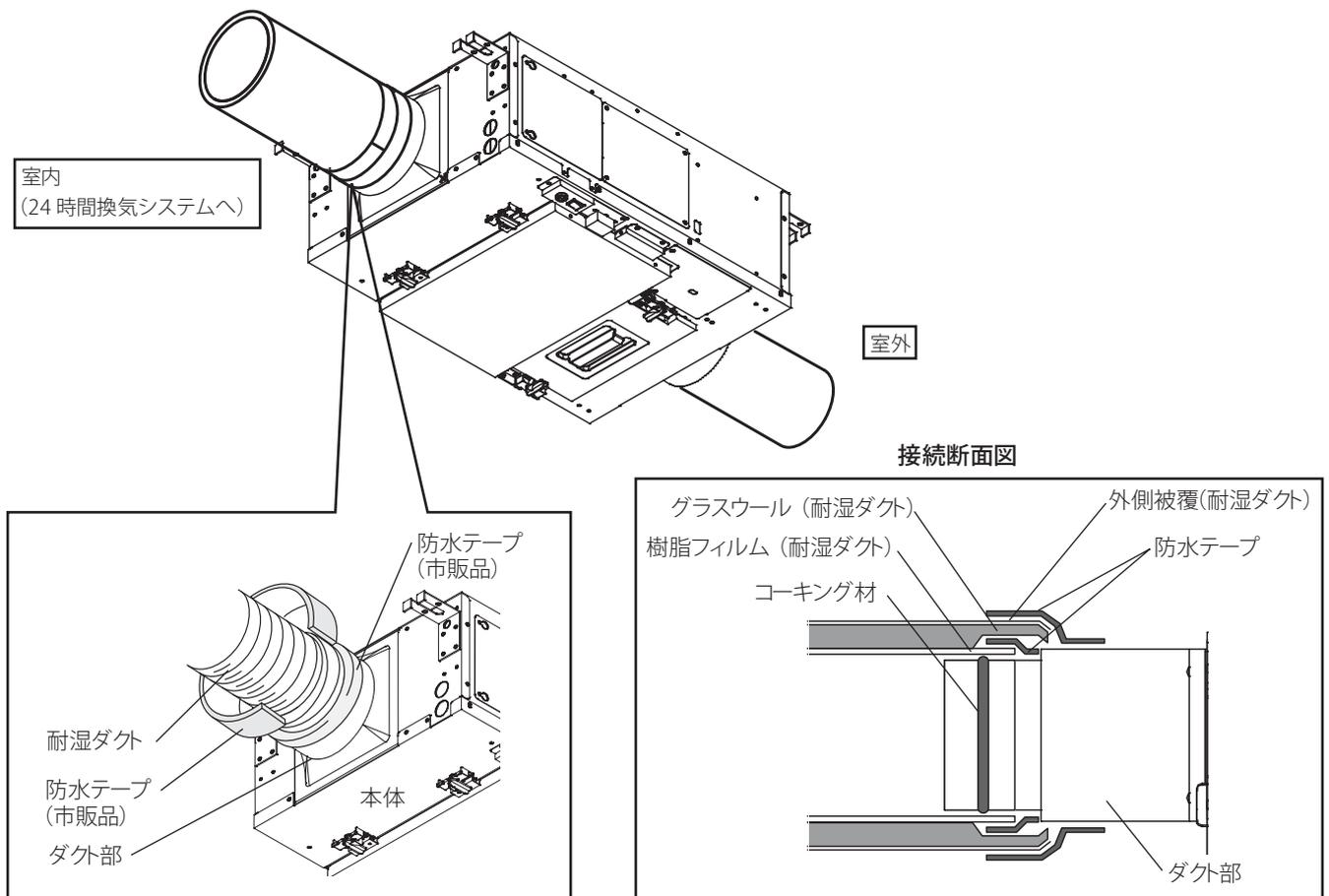
3. ダクトの取り付け（耐湿ダクトの場合）

1. ダクト配管

- ①耐湿ダクトの外側の被覆、グラスウールをまくり、内側の樹脂フィルムをむき出し、樹脂フィルムを約 30mm カッター等で切断してください。
- ②樹脂フィルムの内側にコーキング材を1周塗布してください。（ダクト部にコーキング材を塗布した場合、テープが付きにくくなる場合があります。）
- ③耐湿ダクトをダクト部に差し込みます。ダクト部のプラスチック部を少しのこし樹脂フィルムを防水テープで隙間なく巻いてください。
- ④耐湿ダクトのグラスウール、外側被覆を元通りにかぶせて、外側被覆をダクト部の発砲スチロール部に防水テープで隙間なく巻きつけて固定してください。

<お願い>

- ダクト接続をする前にダクト内や本体内に切り粉、異物（紙、ビニールなど）が入っていないことを確認してください。
- 給気ダクトの先端には、雨水、雪、虫、小動物が侵入しにくい屋外フードを選定してください。

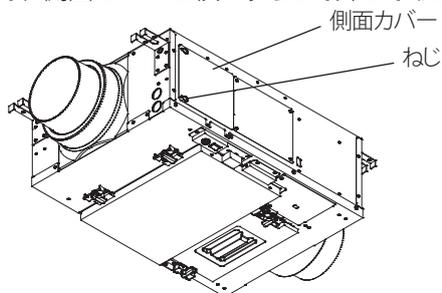


⚠ 注意

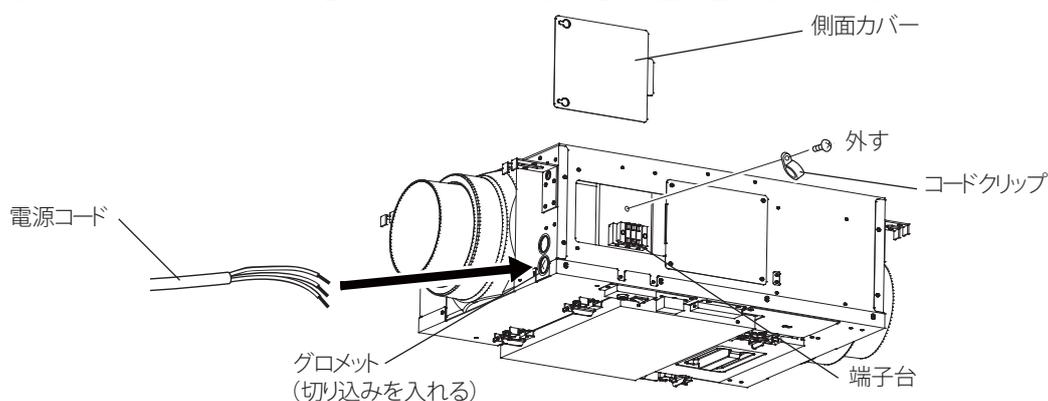
- 屋外側ダクトは雨水の侵入を防ぐため、屋外に向けて長さ 500mm 以上で 1/30 以上の下り勾配をつけてください。
- 外気清浄機ダクト部に荷重がかからないようにダクト自体を吊上げて固定してください。
外気清浄機ダクト部に荷重がかかると結露、エア漏れの原因となります。

4. 電源コードの接続

1. 側面の側面カバーのねじを2本緩めて、側面カバーを横にずらして外してください。



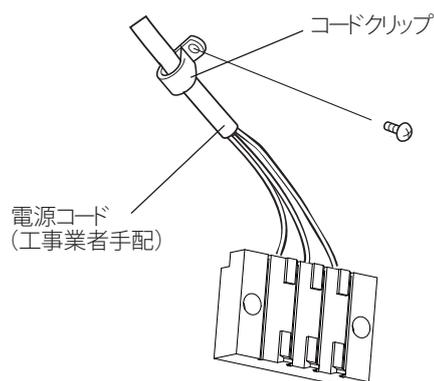
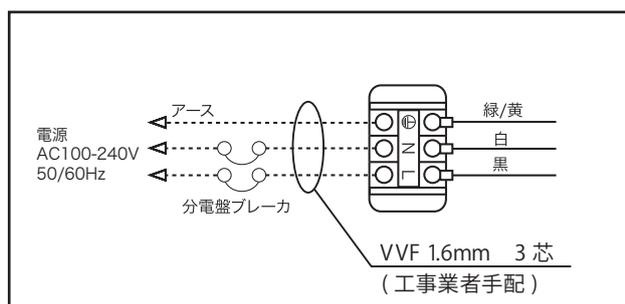
2. グロメットに切り込みを入れ、電源コード（工事業者手配）を端子台近くまで差し込んでください。
本体に付けてあるコードクリップを外し、電源コード（工事業者手配）に差し込んでください。



3. 電源コードの線を、図のように端子台に取り付けてください。

<据付け上のご注意>

- 電源コードの接続は、図を参考にしして接続してください。
- 電源コードは、工事業者手配になっています。



4. コードクリップを元の位置に取り付けてください。
5. 側面カバーを元通りに取り付けて、ねじを締めてください。

⚠ 注意

側面カバーは必ず元通りにネジ止め固定してください。 火災・漏電の原因になります。

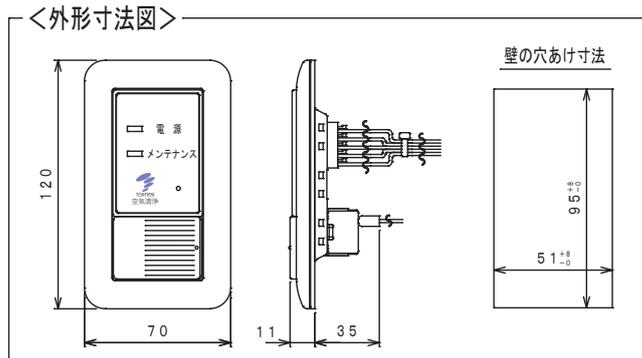
電源は単相 AC100-240V ですのでご注意ください。 火災・感電・故障の原因になります。

5. 埋込表示スイッチの結線

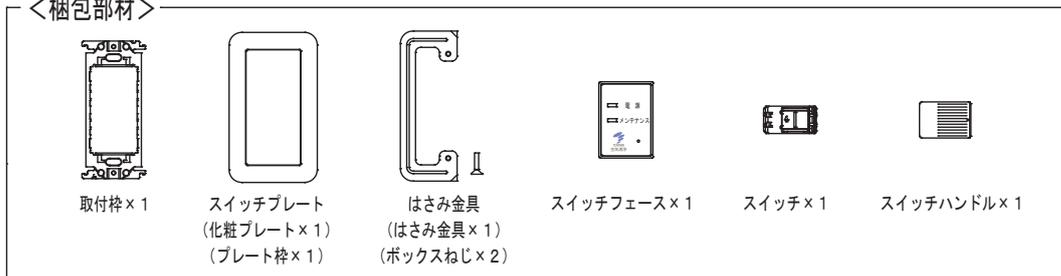
⚠ 注意

全ての配線のコネクタ接続を終えてから電源スイッチを入れてください。
火災・感電・故障の原因になります。

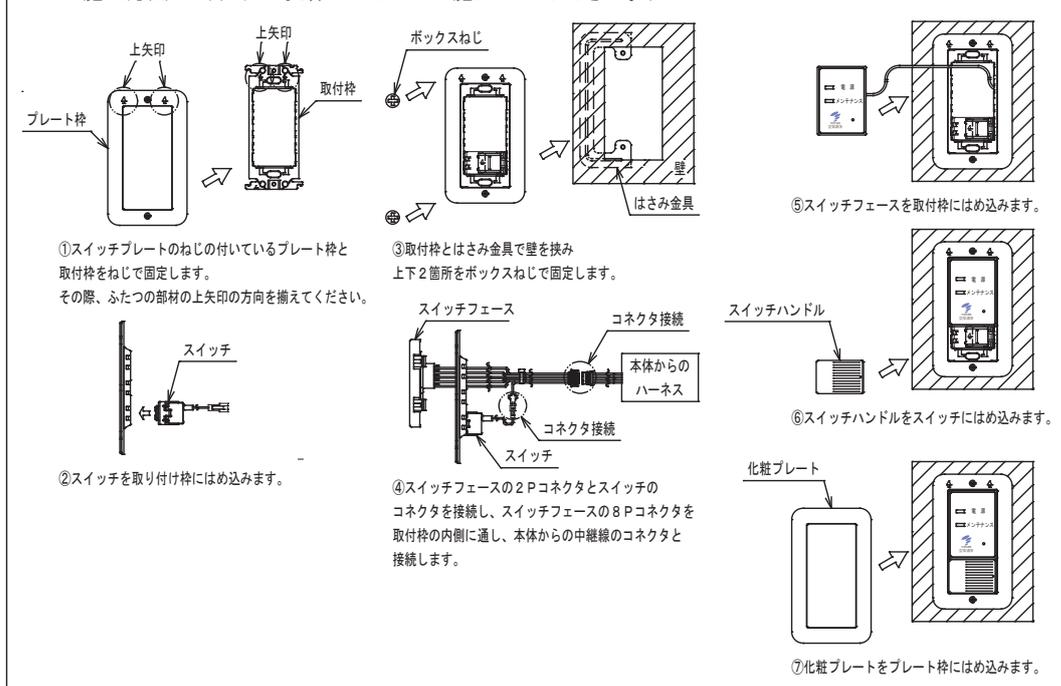
埋込表示スイッチ施工要領書



＜梱包部材＞



＜施工方法＞（以下の手順にしたがって施工してください。）



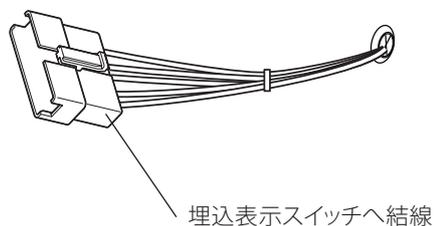
お願い

結線終了後、電源を入れる前に再度、結線が間違っていないか確認してください。

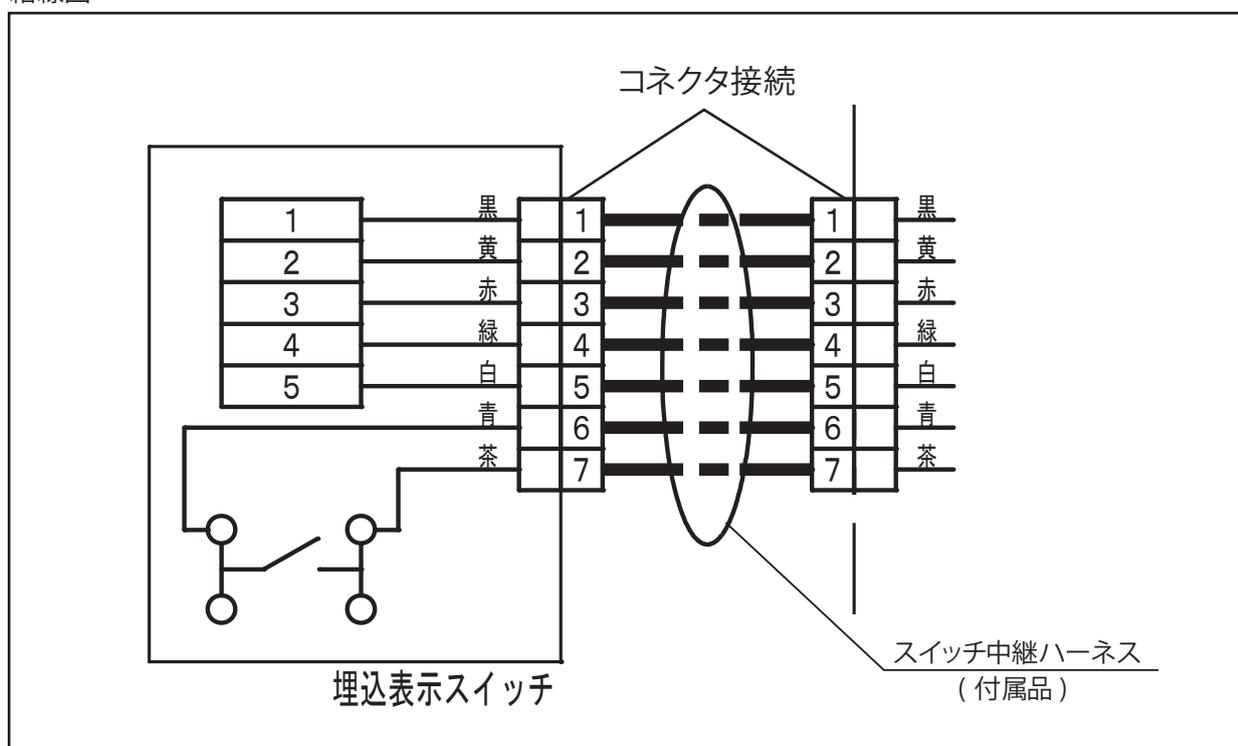
1. 外気清浄機ユニットからの埋込表示スイッチへの配線と室内壁へ取付けた埋込表示スイッチの配線を、下図の結線図のようにコネクタ接続してください。

<据付け上のご注意>

- 太線部分をコネクタ接続してください。
- コネクタ接続は、下図を参考にして接続してください。



結線図



7

点検口設置位置

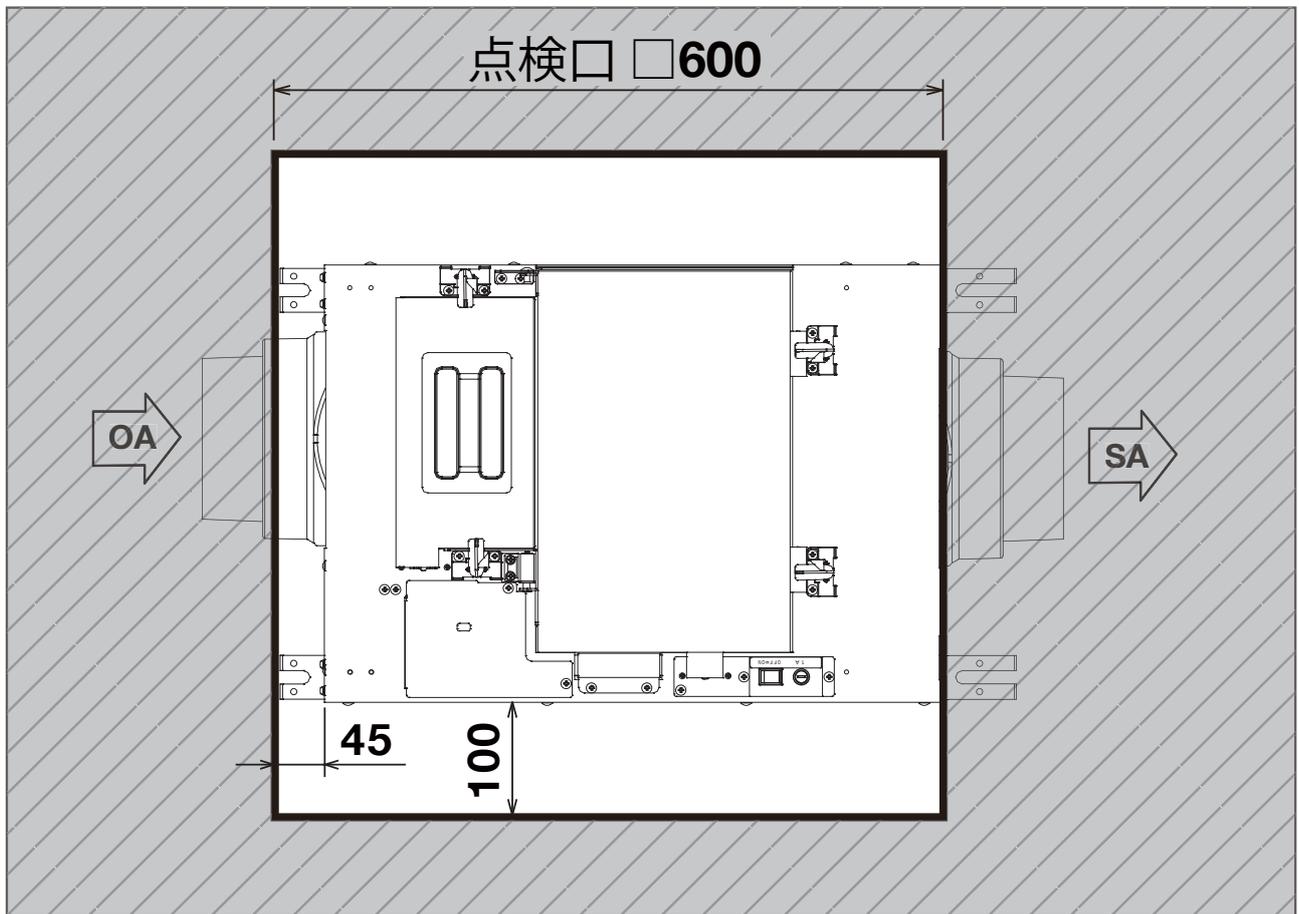
点検口設置位置

1. 定期的なメンテナンスが必要なため、下図の位置に点検口を設けてください。
(下図寸法の点検口が設置されませんと、メンテナンス時、フィルタの交換ができなくなります。)

<点検口サイズ>

□600mm

点検口の配置図



下から見上げた図

⚠ 注意

●点検口は□600mmを使用し、所定の位置に取り付けてください。

(点検口の位置ずれによりメンテナンスが行えず、やむをえず点検口を広げる追加工事が発生する場合があります。追加工事などにかかる費用等は施工業者様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。)

8 試運転と作動確認

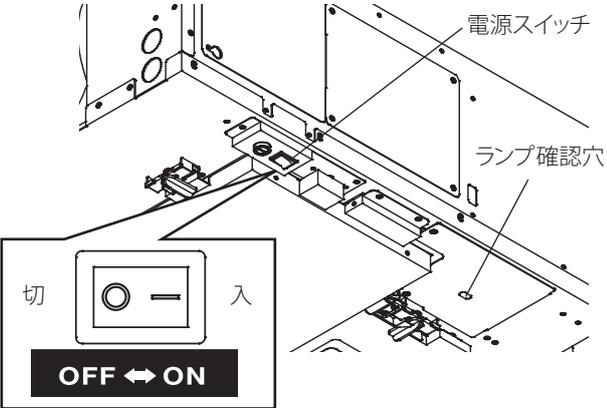
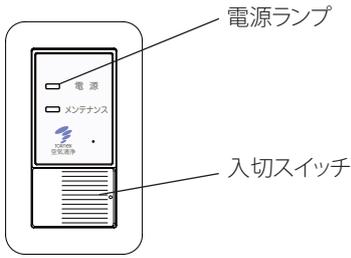
1. 試運転の準備

1. 据付工事が確実に完了したことを確認してください。
2. メンテパネルが完全に閉まっていることを確認してください。
3. 外気清浄機ユニットの電源スイッチを入れてください。

⚠ 注意

電源を入れるときは、感電に十分注意してください。

2. 試運転と作動確認

試運転	作動確認
<p>1. 外気清浄機ユニットの電源スイッチを ON 側 (—) にしてください。</p>  <p>電源スイッチ</p> <p>ランプ確認穴</p> <p>切 入</p> <p>OFF ↔ ON</p>	<p>電源スイッチを ON にした状態で、ランプ確認穴からランプが緑色に点灯していることを確認してください。外気清浄機ユニットが運転待機状態になります。</p>
<p>2. 埋込表示スイッチの入切スイッチを押してください。</p>  <p>電源ランプ</p> <p>入切スイッチ</p> <p>埋込表示スイッチ</p>	<p>電源ランプの緑ランプが点灯し、外気清浄機ユニットが運転を開始します。</p> <p>電源ランプの緑ランプ点灯を確認したら試運転と作動確認終了です。</p> <p>※緑ランプの点灯以外の表示の場合は 19 ページの「埋込表示スイッチのランプ表示の確認」を確認してください。</p>

3. 埋込表示スイッチのランプ表示の確認

ランプ表示	状況	確認していただく箇所	処置のしかた
(緑) 	緑ランプ点灯	正常運転中	異常ありません。
(赤) 	赤ランプ点灯	埋込表示スイッチの入切スイッチを、1回押すとすべてのランプが消え、もう一度押すと緑ランプが1度点灯してから消灯し、赤ランプだけ点灯した。	メンテパネルか防虫ネット部または電子式集塵フィルタが正規の位置に取り付けられていません。 正規の位置に取付けてください。 電子式集塵フィルタ(7ページ手順3、手順4) 防虫ネット部(19ページ防虫ネット部の確認)
	緑・赤ランプ消灯	埋込表示スイッチの入切スイッチを何度押しでもすべてのランプが消灯している。	分電盤ブレーカーがONになっているか、ご確認ください。 OFFになっていた場合はONにしてからもう一度埋込表示スイッチの入切スイッチをONにしてください。 外気清浄機ユニットの電源スイッチがONになっているかご確認ください。 OFFになっていた場合はONにしてからもう一度埋込表示スイッチの入切スイッチをONにしてください。

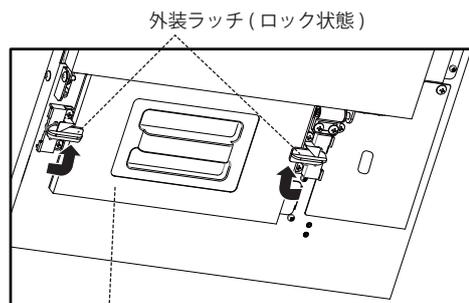
※防虫ネットの付属していない製品は防虫ネット部の確認の必要はございません。

※処置後は埋込表示スイッチの入切スイッチを一度OFFにしてからONにして緑ランプ点灯（正常運転中）になっている事を確認してください。

4. 防虫ネット部の確認

※電源ランプが緑ランプ点灯の場合は、防虫ネット部の確認の必要はございません。

防虫ネット部の外装ラッチがロック状態であることを確認してください。



防虫ネット部

9 引き渡し

お客様に引き渡す際には、下記のことを必ず説明してください。

1. 同梱されている取扱説明書で、お客様に操作方法と安全上のご注意を説明してください。
2. 使用前にもう一度、取扱説明書を読んでいただくように説明してください。
3. 取扱説明書を、いつでも見られる所に、大切に保存するように説明してください。
4. 外気清浄機ユニットのメンテナンス用点検口の位置を説明してください。

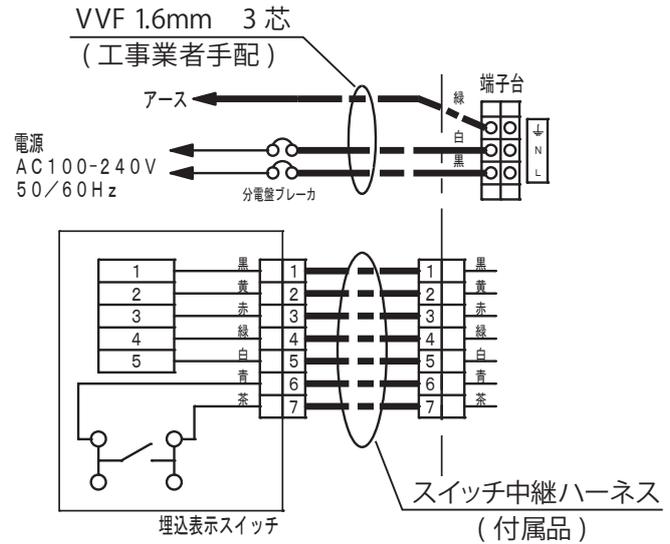
MEMO

結線図

1. 太線部分を結線してください。
(付属のスイッチ以外は使用できません。)

⚠ 注意

全ての配線の結線を終えてから外気清浄機ユニットの電源スイッチを入れてください。
火災・感電・故障の原因になります。



点検口設置位置

1. 定期的なメンテナンスが必要のため、右図の位置に点検口を設けてください。
(右図寸法の点検口が設置されませんと、メンテナンス時、フィルタの交換ができなくなります。)

<点検口サイズ>

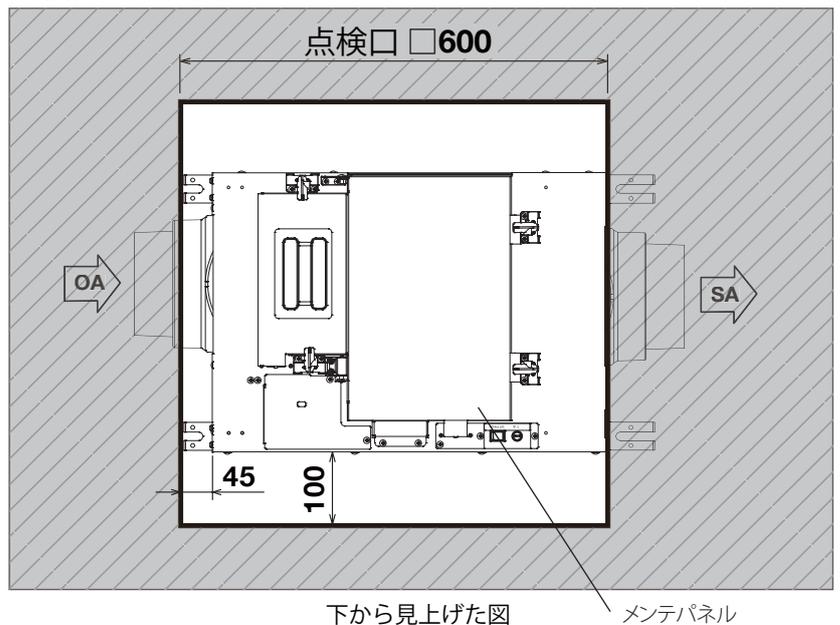
□600mm

⚠ 注意

●点検口は□600mmを使用し、所定の位置に取り付けてください。

(点検口の位置ずれによりメンテナンスが行えず、やむをえず点検口を広げる追加工事が発生する場合があります。追加工事などにかかる費用等は施工業者様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。)

点検口の配置図



販売代理店

お問い合わせ先

室内空気環境
ソリューションカンパニー



株式会社トルネックスカスタマーサービス部
〒116-0003 東京都荒川区南千住 7-20-7

フリーコール 0120-926-186 ※フリーコールはIP電話からはご利用いただけません
もしくは 03-3891-6781

電話受付時間：9:00~17:30
※土日祝及び夏期休暇・年末年始を除く